



松平家・徳川将軍家菩提寺 成道山 松安院

大樹寺

大樹寺のしおり

松平家・徳川將軍家の菩提寺として名高く、成道山松安院と号し、文明7年(1475)松平4代親忠(家康から5代前の先祖)の創建したものである。

本尊阿弥陀如来は平安末期の作と云われ、光背に千仏を宿すところから別名、一光千体仏ともいわれ、円満の相好は拝する者をして清浄の信心を起さしめる。

開山勢譽愚底上人は松平親忠に浄土の奥義、結縁五重を相伝したところから、この寺は浄土宗の五重相伝根源道場として知られている。

家康19歳の時、桶狭間合戦により、今川義元が倒れたので身の危険を感じ、大高城から大樹寺に逃れ、13代住職登誉上人に先祖の墓前で自害すべく覚悟のほどを表わすと、上人の言葉は

「厭離穢土、欣求浄土」【おん(えん)りえど ごんぐじょうと】—戦国乱世を住みよい浄土にするのがお前の役目—と訓し、悩める家康を翻意させ、家康はこの八文字を終生座右の銘とした。又この時家康を追う野武士の一隊が大樹寺を囲んだが、寺僧の一人、祖洞和尚が門のカヌキを引き抜いて打って出て、70人力で阿修羅の如く戦い、敵を退散せしめた。後に家康はこのカヌキ

を立志開運「貫木神」と命名。今も大樹寺に安置されている。

家康の人生観の確立と一代の危機を救った大樹寺は、家康の遺命の1条に「位牌は三河大樹寺に祀るべきこと」とあるにより、徳川歴代將軍の等身大の位牌が安置されている。毎年4月17日には御神忌法要が営まれ家康公の遺徳を讃える法要が厳修されている。



廟所〈市指定史蹟〉

松平四代親忠公は大樹寺創建の際、先祖三代の墓を移祭し、廟所を創建、元和3年(1617)家康公一周忌にあたり、二代將軍秀忠公は先祖松平八代の廟所を修復再建した。親忠公以下の墓石には「奉再興五輪元和三曆南呂(八月)十五日」と刻まれている。昭和44年4月大樹寺保存会により家康公の遺徳を顕彰し遺品を納めた墓と碑が建立された。



多宝塔〈国指定重要文化財〉

天文4年(1535)松平清康公建立。一層は方形、二層は円形の格調高い多宝塔である。最も古い建物、足利末期にできた多宝塔の美しさはたとえようもない。



大樹寺より岡崎城を拝む展望(ビスタライン)

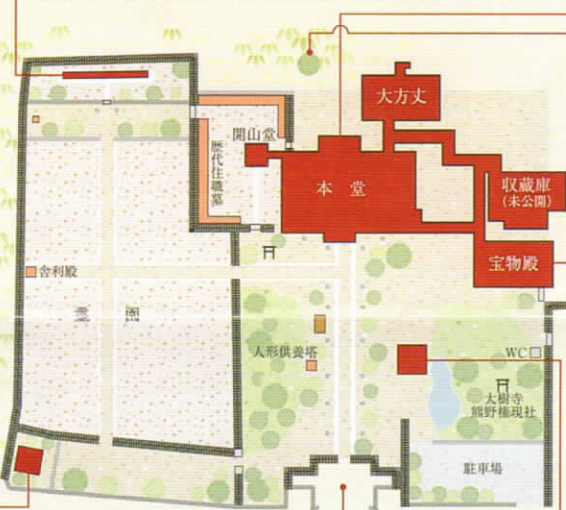
大樹寺より、家康公生誕の地 岡崎城を拝し世の安寧を、岡崎城より 先祖を祀る大樹寺を拝することができるよう3代將軍徳川家光公が寛永の大造営(1636~1641年)により、本堂、大方丈以下の58棟の伽藍を配置した。神君家康公を尊敬する家光公の思いは、380年の時が流れても岡崎市民により守られている。



木造 阿弥陀如来坐像〈県文化財〉

(本堂・木造) 平安末期

一光千体阿弥陀如来で後背の千体もの阿弥陀仏と共に慈悲にみちたお顔で私たちに救いの手をさしのべている。



大樹寺山門〈県指定文化財〉

寛永18年(1641)三代將軍徳川家光公建立。楼の上に後奈良天皇御宸筆「大樹寺」の勅額(重要文化財)が掲げられている。また釈迦三尊十六羅漢を安置している。境内から山門、総門をとおり、その真中に岡崎城が見える。



本堂

文明7年(1475)松平四代親忠公が勢譽愚底上人を開山として創建。安政2年の火災により焼失、安政4年(1857)徳川十三代將軍家定公再建。本堂は間口十五間、奥行十三間の大伽藍。先づ本堂に参拝し、大方丈、位牌堂を経てから境内を巡るとよい。大方丈、位牌堂は有料。



宝物殿(位牌堂)

松平家・徳川將軍家の等身大の位牌が位牌堂に、国指定重要文化財の冷泉が恭障壁面の復元品、家康公をお救いした貫木神(かんぬきしん)が大方丈に展示、祀られている。これら数多くの宝物を拝観見学することができる。



鐘楼〈県指定文化財〉

寛永18年(1641)三代將軍徳川家光公建立。楼上の大鐘は九代將軍家重公改鑄の名鐘である。



大樹寺のしいの木

大方丈北側のツブラジイの老樹で、岡崎市の天然記念物に指定される。寺伝では家康公が永禄三年(1560年)19歳の時にお手植えされたという。江戸時代の古地図にも、家康公お手植のしいの木として所在が示されている。



襖絵 将軍御成の間〈国指定重要文化財〉

安政4年(1857)復古大和絵師、冷泉為恭(れいぜいためちか)公の大作で平安時代、円融天皇、子の日の御遊図(49面)他に為恭の絵(96面)がある。現在は大方丈において復元品にて公開している。



家康公 木像〈県指定文化財〉

慶安元年(1648年)、家康公の33回忌にあわせて、三代将軍徳川家光公により造られる。家康公の壮年期の束帯姿を表し、京都の大仏師、左京法橋康以の作で御霊屋の御神体として安置されていたもの。



本堂内陣

宝 物 拝 観

〈有料〉

徳川家康公遺訓

人の一生は重荷を負て 遠き道を行くが如し 急ぐべからず
不自由を常と思えば不足なし
心に望み起らば 困窮したるときを思ひ出すべし
堪忍は無事長久の基 怒りは敵と思え
勝つことばかり知りて 負くることを知らざれば 害その身に至る
己を責めて人を責むるな
及ばざるは過たるより勝れり



松平八代・徳川歴代将軍位牌

家康公の命により松平八代と徳川歴代将軍の14代までの位牌を安置している。徳川将軍の位牌は等身大(亡くなった時の身長)で作られている。



貫木神

家康公の難を救った貫木は、その後、立志開運の「貫木神」(かんぬきじん)としてお祀りされ、当寺の寺宝となった。



おもな年中行事

1月 1日	修正会	8月 6・7日	暁天講座
1月 17日	初観音	6・7日	盆施餓鬼会
2月 3日	節分会	7日	放生会
2月 25日	法然上人御忌	9月 17日	おひがん
3月 17日	おひがん	11月 14日	お十夜
4月 17日	御神忌(家康公御命日法要)	12月 8日	成道会
5月(第三日曜日)	人形供養	12月 31日	除夜の鐘、お火たき

■大樹寺への道案内

〈おクルマをご利用の場合〉

- 東名高速道路「岡崎インター」より20分
- 伊勢湾岸自動車道「豊田東インター」より15分
- 岡崎城より3km、10分(国道248号をご利用ください)

〈電車・バスをご利用の場合〉

- 名鉄「東岡崎」駅またはJR「岡崎」駅下車、駅前より「大樹寺」「奥殿陣屋」「滝団地」行き等のバスにて「大樹寺」下車、徒歩10分(名鉄「東岡崎」駅より4km、JR「岡崎」駅より8km)
- 愛知環状鉄道「大門」駅より徒歩15分

松平家・徳川将軍家菩提寺 成道山 松安院

大樹寺

〒444-2121 岡崎市鴨田町字広元5-1

電話 (0564) 21-3917

FAX (0564) 21-3215

ホームページ <http://home1.catvmics.ne.jp/~daijuji/>

E-mail daijuji@m3.catvmics.ne.jp

宝物殿

■拝観時間 午前9時～午後4時半(受付:午後4時まで)

■拝観料

1人:500円(小・中学生:300円)

※幼児無料

団体(15名様以上) 1人:400円